

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: Address, etc. Rows include 有明大橋町, 有明台, 関新2・3丁目, etc.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, etc.

●人口

Table with population statistics: 総人口, 0~4歳, 5~14歳, etc. Includes a pie chart showing age distribution.

●建物関連指標

Table with building-related indicators: 総棟数, 木造, 非木造, etc. Includes a pie chart showing building construction type distribution.

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites within the district: 施設名, 標高, 階数, 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

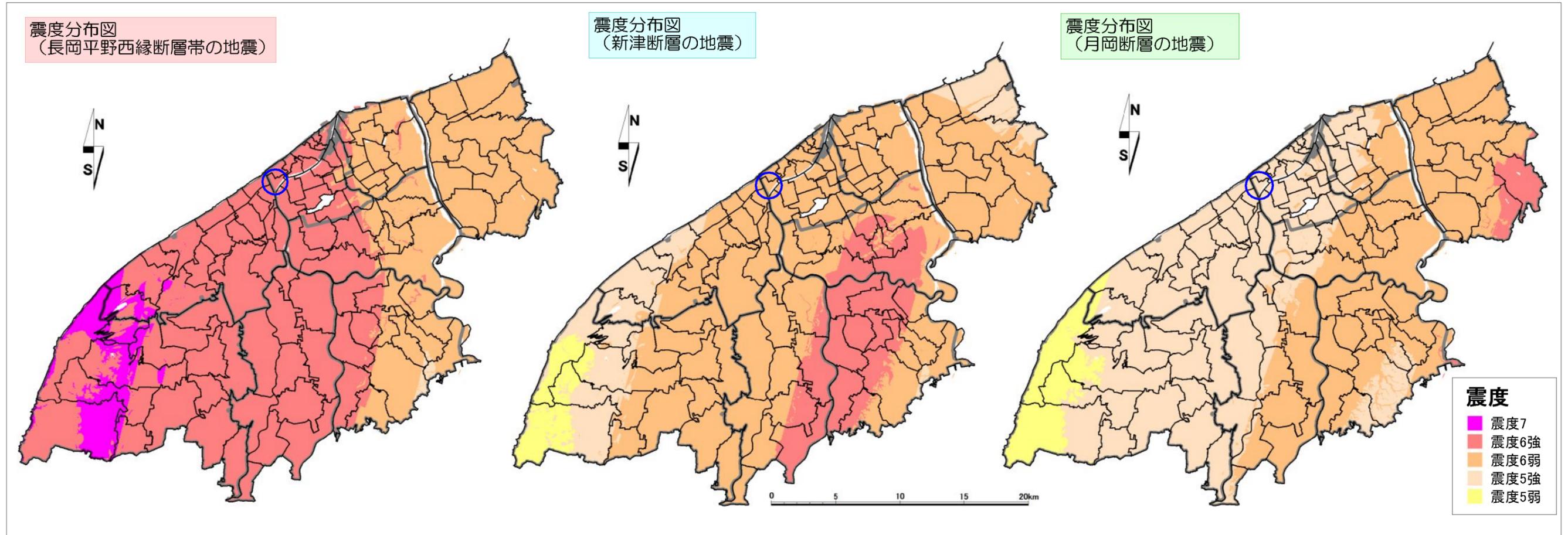
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites outside the district: 施設名, 標高, 階数, 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

避難の可否(災害ごとに表記): 開設する施設を「○」・「避難可能な階数」、開設しない施設を「-」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 津波 (地震), 水害 (土砂).



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

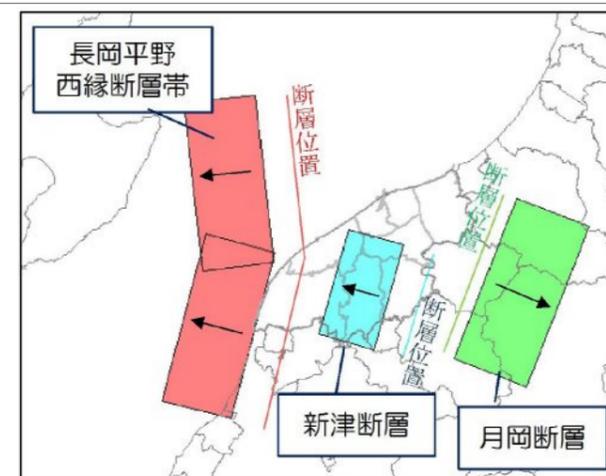
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

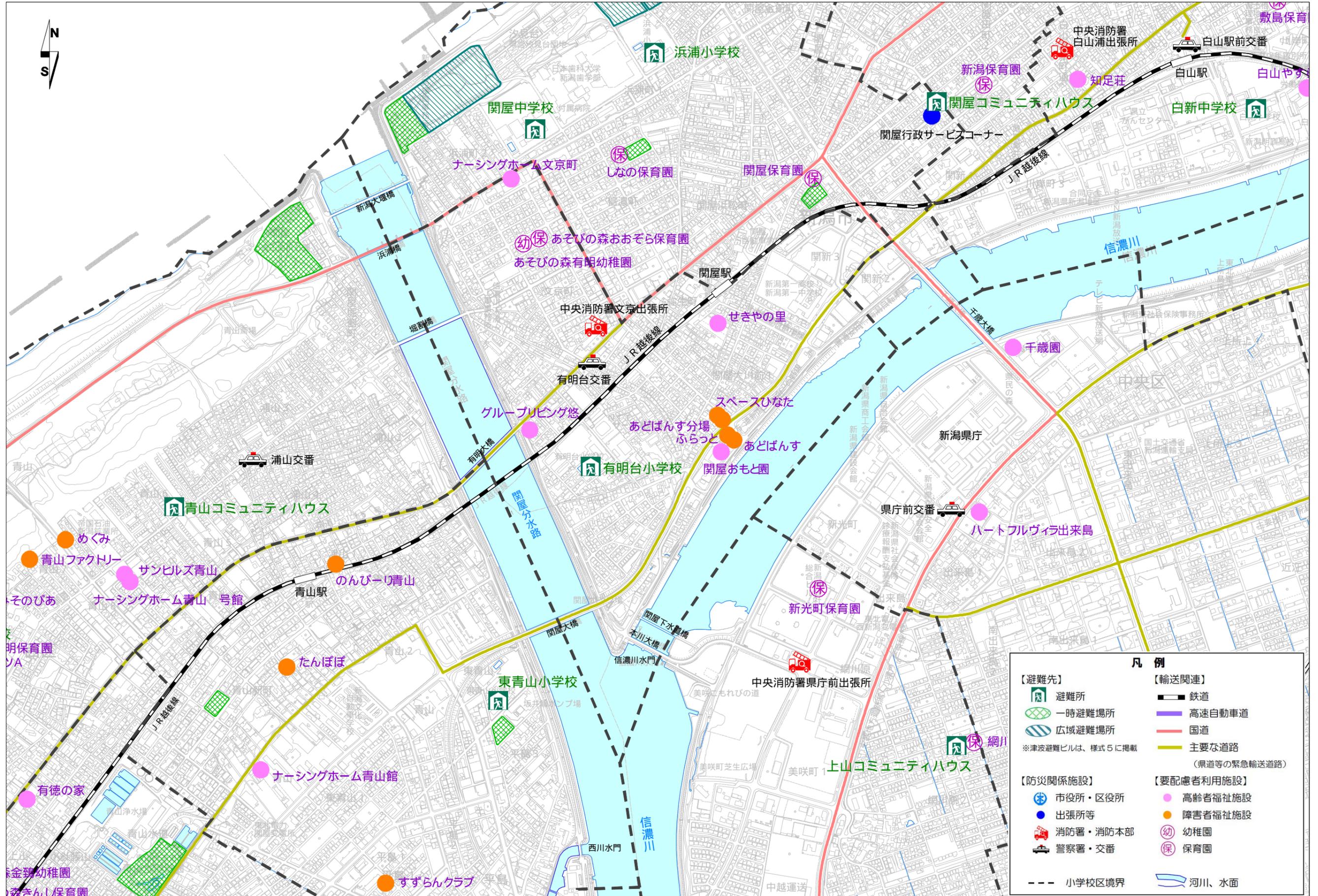
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。

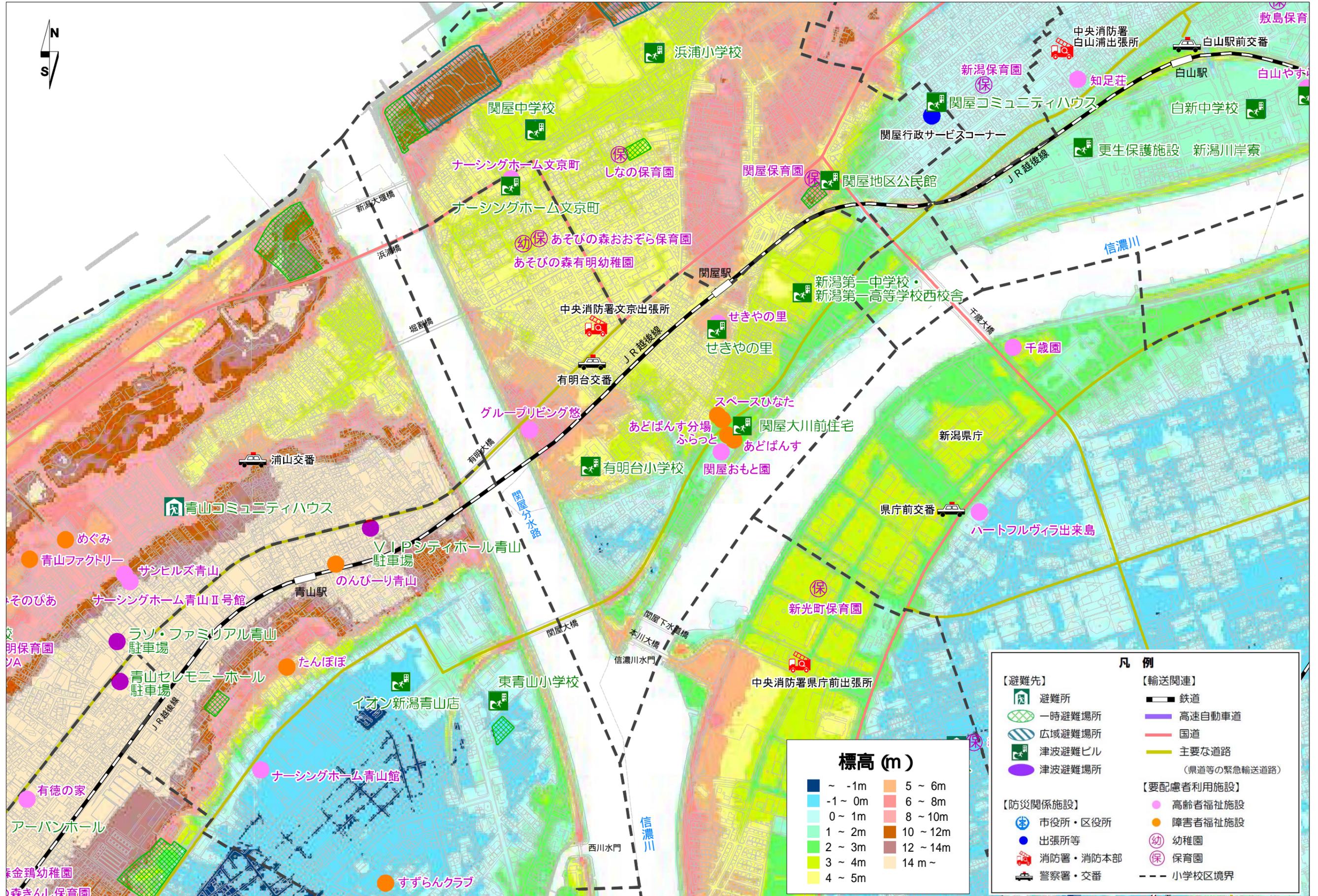


凡例	
【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
※津波避難ビルは、様式5に掲載	
【防災関係施設】	【要配慮者利用施設】
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
小学校区境界	河川、水面

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)





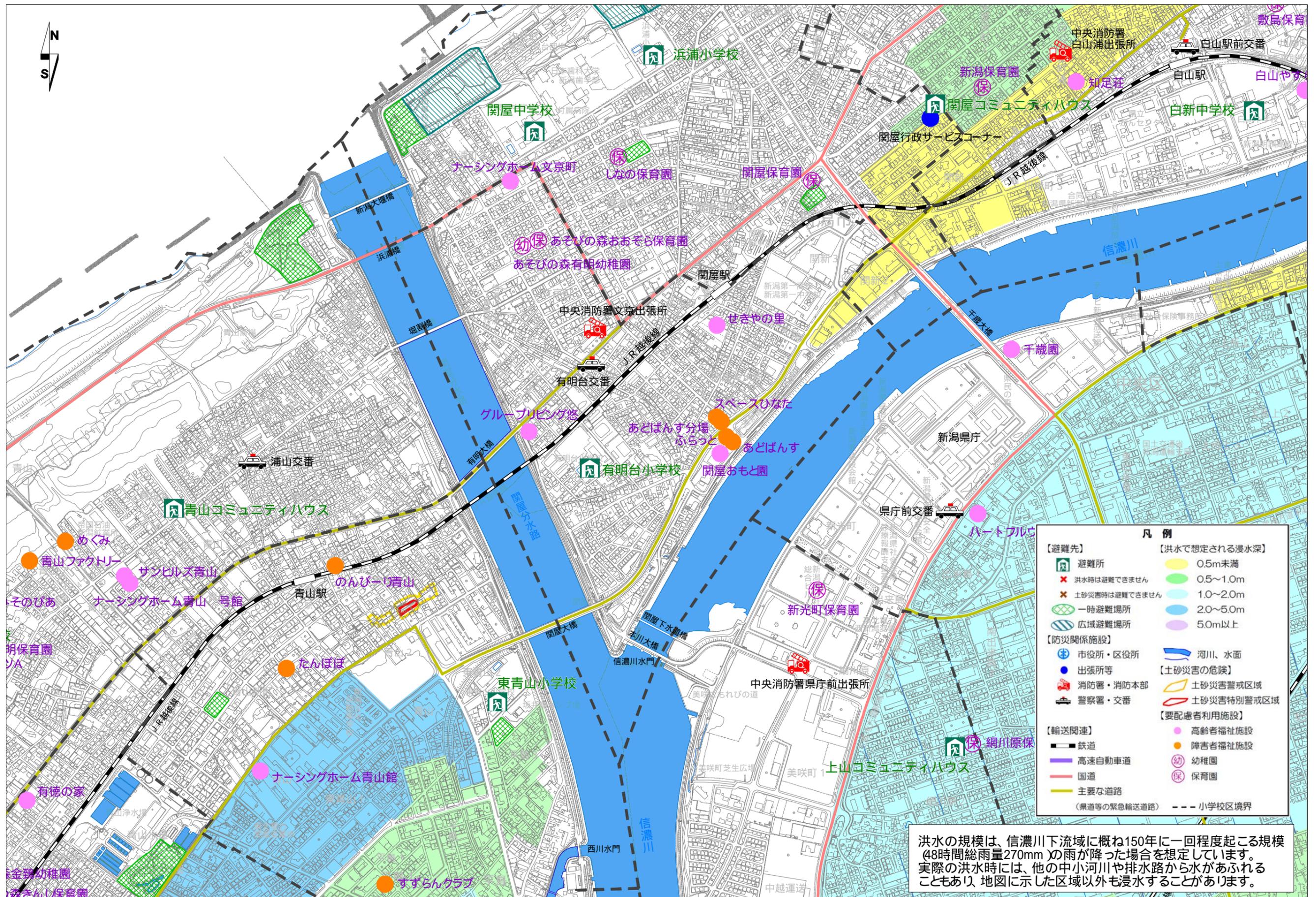


【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

有明台小学校区



【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
 信濃川下流浸水想定区域 (国土交通省, 平成14年4月30日)

洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模 (48時間総雨量270mm) の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。